

理学療法学科 [3年制 / 男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

理学療法学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 医学および理学療法の専門知識と技能を学ぶための基礎学力を身につけている人
- 3 疾病や障害を持つ人の気持ちに共感し、障害の予防および改善に取り組む意欲を持っている人
- 4 保健、医療、福祉に強い関心を持っている人

CP

教育課程編成実施の方針

カリキュラムポリシー

理学療法学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせる授業を行う

- 1 1年次には、基礎科目および専門基礎科目によって医療人のプロフェッショナルリズム、リハビリテーションおよび理学療法で問題を解決する思考の基礎を培う
- 2 2年次には、専門科目によって骨関節障害、神経障害、内部障害などに対する基本的理学療法の知識と技能を修得させる
- 3 3年次には、臨床実習で一連の理学療法を経験し、実践的な態度、知識、技能を育成する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

理学療法学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる理学療法士の知識と技能を身につけている
- 2 医療人としてのプロフェッショナルリズムとコミュニケーション能力を身につけている
- 3 臨床推論に基づいた基本的理学療法を提供するための基礎知識および基礎技能を身につけている
- 4 理学療法士国家試験に合格できる知識を身につけている

	1年次		2年次		3年次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	医療人ならびに理学療法士としてのプロフェッショナルリズムを身につける。理学療法専門科目を学ぶための土台となる基礎科学、解剖学、生理学、運動学を身につける。	理学療法の概要を理解する。専門知識および技術を学ぶ際の土台となる臨床医学、バイオメカニクスを身につける。	疾患別理学療法治療学を学ぶ際の土台となる基礎理学療法学を身につける。多様な障害に共通する義肢装具療法、物理療法、住環境整備を身につける。	疾患別理学療法 (骨関節疾患、神経疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、小児疾患、糖尿病、がんなど) の理論および技術を身につける。	総合臨床実習は診療参加型で行い、一連の実践的理学療法プロセス (情報収集と検査測定→臨床推論→臨床判断→理学療法の実施) を身につける。	
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> 講義 リハビリテーション医学概論 講義 生化学 講義 解剖運動学 I 講義 解剖生理学 I 実技 解剖運動学 II 講義 解剖生理学 II 講義 物理学 演習 情報科学 講義 心理学 演習 コミュニケーション論 演習 人間育成学 I 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 理学療法概論 講義 リハビリテーション整形外科 講義 リハビリテーション神経学 講義 リハビリテーション内科学 講義 人間発達学 講義 小児科学 実習 解剖学実習 講義 人間工学 講義 精神医学 講義 臨床心理学 講義 一般臨床医学 実技 理学療法評価学 I 実習 見学実習 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 保健医療福祉論 講義 基礎理学療法学 I 講義 基礎理学療法学 II 講義 基礎理学療法学 III 講義 基礎理学療法学 IV 講義 リハビリテーション診断学 講義 運動療法学 講義 日常生活活動学 講義 義肢装具学 I 演習 統計学 講義 生活環境学 I 講義 老年学 講義 英語 実技 理学療法評価学 II 実習 評価実習 I 演習 人間育成学 II 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 整形外科疾患の理学療法 I 講義 整形外科疾患の理学療法 II 講義 整形外科疾患の理学療法 III 講義 中枢神経疾患の理学療法 I 講義 中枢神経疾患の理学療法 II 講義 内部障害の理学療法 I 講義 内部障害の理学療法 II 講義 内部障害の理学療法 III 講義 発達障害の理学療法 実習 物理療法学 講義 義肢装具学 II 演習 理学療法研究論 講義 生活環境学 II 講義 地域理学療法学 実技 理学療法評価学 III 演習 動作分析セミナー 実習 評価実習 II 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 理学療法管理学 実習 ペーパーベシエントセミナー 実習 総合臨床実習 I 	<ul style="list-style-type: none"> 実習 総合臨床実習 II 実習 理学療法士国家試験
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 4月: 入学前学習 7月: 入学式 8月: 穴吹祭 9月: 新入生オリエンテーション 8月: 国際交流会 9月: 学生親睦会 9月: 夏休み 9月: スポーツ大会 12月: 冬休み 2月: 見学実習 3月: 医療系海外研修 (※希望者) 3月: 春休み 	<ul style="list-style-type: none"> 7月: 国際交流会 8月: 穴吹祭 9月: 夏休み 9月: スポーツ大会 12月: 冬休み 2月: 学生親睦会 2月: 就職講演会 3月: 医療系海外研修 (※希望者) 3月: 春休み 3月: 評価実習 I 	<ul style="list-style-type: none"> 4月: 就職ガイダンス 5月: 穴吹祭 7月: 学生親睦会 12月: 冬休み 2月: 学生親睦会 3月: 卒業式 3月: 評価実習 II 	<ul style="list-style-type: none"> 4月: 総合臨床実習 I 5月: 穴吹祭 7月: 学生親睦会 12月: 冬休み 2月: 学生親睦会 3月: 卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> 4月: 総合臨床実習 I 5月: 穴吹祭 7月: 学生親睦会 12月: 冬休み 2月: 学生親睦会 3月: 卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> 4月: 総合臨床実習 I 5月: 穴吹祭 7月: 学生親睦会 12月: 冬休み 2月: 学生親睦会 3月: 卒業式

目指す資格

- 理学療法士 [国家資格]

主な科目内容	
リハビリテーション医学概論	リハビリテーション医学の概要を理解し、これから学ぶ臨床医学や専門分野に対する意識を高める。
理学療法概論	理学療法の概要、歴史、役割、過程、モデル、職種、各病期における理学療法の意義や目的を学ぶ。
保健医療福祉論	社会保障制度 (医療保険、介護保険など)、関連法規、地域包括ケアシステム、施策の動向について学ぶ。
理学療法管理学	理学療法の実施とそれに対応、実施後の診療記録と書類管理、他職種との業務調整、カンファレンス、理学療法機器の保守点検・安全管理、労務管理などについて学ぶ。
解剖運動学 I・II	骨・関節・靭帯・筋・腱の構造と機能、関節運動のメカニズム、体表面解剖および断面解剖、機能解剖学的触診技術を学ぶ。
解剖生理学 I・II	神経 (末梢・中枢神経系) および内臓 (呼吸器・循環器・泌尿器・消化器など) の構造と機能、運動制御と運動学習について学ぶ。
リハビリテーション整形外科	骨関節障害を引き起こす主な疾患 (変形性関節症、骨折、脱臼、靭帯損傷、関節リウマチ、スポーツ損傷など) の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
リハビリテーション神経学	中枢神経・末梢神経・筋の障害を引き起こす主な疾患 (脳血管疾患、神経筋疾患、外傷性脳損傷、脊髄損傷など) の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
リハビリテーション内科学	理学療法的主要な対象となる内部障害の原因疾患 (呼吸器疾患、循環器疾患、糖尿病、腎臓病、がんなど) の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
人間発達学	胎児期から老年期に至るまでの、身体的な変化及び精神的な発達とそれぞれの時期の特徴を学ぶ。発達スクリーニング検査、反射や反応について学ぶ。
小児科学	小児の障害を引き起こす主な疾患 (脳性麻痺、水頭症、二分脊椎、悪性腫瘍、遺伝子病、染色体異常、先天奇形など) の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
基礎理学療法学 I・II・III・IV	様々な疾病に共通する機能障害 (疼痛、筋緊張異常、関節可動域制限、筋力低下、創傷、靭帯損傷、骨折、運動麻痺、感覚異常など) の病態や修復過程を学ぶ。
整形外科疾患の理学療法 I・II・III	骨関節疾患 (変形性関節症、骨折、脱臼、靭帯損傷、関節リウマチ、スポーツ損傷など) に対する理学療法の理論と方法を学ぶ。
中枢神経疾患の理学療法 I・II	中枢神経・末梢神経・筋の障害 (脳血管疾患、神経筋疾患、外傷性脳損傷、脊髄損傷など) に対する理学療法の理論と方法を学ぶ。
内部障害の理学療法 I・II・III	内部障害 (呼吸器疾患、循環器疾患、糖尿病、腎臓病、がんなど) に対する理学療法の理論と方法、病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
発達障害の理学療法	小児の障害を引き起こす主な疾患 (脳性麻痺、水頭症、二分脊椎、悪性腫瘍、遺伝子病、染色体異常、先天奇形など) の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
物理学	運動療法および物理療法に必要な力学 (速度、加速度、力、モーメント、運動エネルギー、圧力、熱エネルギー、電磁波) について学ぶ。
人間工学	基本動作 (寝返り、起き上がり、立ち上がり、歩行) のメカニズムを学ぶ。
運動療法学	関節可動域制限、筋力低下、持久力低下、姿勢異常、バランス・平衡機能低下などに対する運動療法の理論と方法を学ぶ。
日常生活活動学	日常生活活動 (手段的日常生活活動を含む) の概念、範囲、評価方法 (Barthel index, FIM など)、基本動作及びセルフケアの練習方法を学ぶ。
義肢装具学 I・II	義肢装具・福祉用具・車椅子などの種類、適応、適合性の確認、調整の方法について学ぶ。
情報科学	情報の意味および価値を理解するとともに、情報を IT (Information Technology) を使って有効な形態に加工し活用する技術を学ぶ。
統計学	基本統計量の計算、確率変数、各種分布、各種の統計量の推定・検定の意味を学ぶ。
理学療法研究論	EBM、EBPT、エビデンスレベル、診療ガイドライン、研究倫理、研究方法 (研究疑問・研究仮説・研究デザイン) などについて学ぶ。
見学実習～総合臨床実習 I・II	診療参加型臨床実習により、対象者との関係性、多職種との関係性、理学療法プロセスを学び、理学療法評価、リスク管理、理学療法治療技術を実践する。